



令和3年度  
W A M 助 成

事業実施の  
ポイントについて

# WAM助成が後押しする4つの力

複数の団体が連携・ネットワーク化を図り、4つの力を高めることで、以下の社会課題に対応する活動を後押しします。

- **分野横断**的取り組み等、民間の創意工夫を活かした効果的な支援
- **制度化**・モデル事業化、社会への啓発を図る取り組み
- 異業種・多機関による**連携**・ネットワークの構築
- 地域共生社会に向けた支え手の育成や**住民参加**の促進

WAM助成で対応実績のある社会課題の例

<b>子ども</b>	・発達障害・幼少期のいじめや虐待による心の病 ・非行・学校中退後の孤立・悩みの抱え込み	<b>依存症者</b>	・自立困難・孤立・判断力低下・自己否定
<b>子育て家庭</b>	・経済的社会的困窮・産前産後の孤立・教育格差 ・夜勤等による過労・精神疾患・育児放棄・DV	<b>非行・刑余者</b>	・社会的自立困難・自立準備ホーム退所後の孤立
<b>若者・学生 生活困窮者</b>	・保証人が付けられず住居確保困難・生活破綻 ・児童養護施設退所後の孤立・ひきこもり状態 ・就活でのつまずき・予期しない妊娠・うつ	<b>多文化家族 難民申請者</b>	・言語や文化の違いによる地域での孤立 ・教育格差・法的地位不安定・居住/就労困難
<b>障害者 難病患者</b>	・自己実現や自己表現の場の少なさ・就労困難 ・親なき後の問題・看護者の孤立や疲労	<b>被災者</b>	・避難先での孤立・体力の低下 ・地域コミュニティの分断
<b>中高年者</b>	・若年性認知症と家族全体の社会的孤立 ・親の介護負担・長期のひきこもり状態	<b>住民・介護者</b>	・地域コミュニティの希薄化・介護人材の不足 ・介護者の孤立や疲労
<b>高齢者</b>	・独居で孤立や困窮・移動困難・判断能力低下	<b>その他 生きづらさを 抱えた者</b>	・性的マイノリティ、その他少数者への差別/偏見

WAM助成により4つの力を高めて対応





# 令和元年度WAM助成実績

令和元年度助成事業について、全136団体から報告された実績数値の総数は以下のとおりでした。支援対象者向け事業の対象者数は延べ245,862人に達し、満足度も高い結果となりました。

## 支援対象者満足度・対象者数

- ・ 支援対象者の満足度 **96.5%**
- ・ 支援対象者向け事業の対象者数  
延べ **245,862人**

## 社会課題を共有できた人数・ 担い手を育てる事業の対象者数

- ・ 社会的課題を共有できた数 **54,321人**
- ・ 担い手を育てる事業の対象者数  
**7,071人**
- ・ 支援対象者が担い手となった数  
**2,896人**

## 連携団体数、専門職の協力者数、 ボランティア参加者数

- ・ 助成期間中の連携団体数 **2,902団体**
- ・ 専門職（有資格者）の協力者数 **2,518人**
- ・ 市民ボランティア参加者数 **5,053人**

## 社会的成果・波及効果又はそれにつながる取り組みの数

- ・ マスコミ等への掲載件数 **721件**
- ・ 問合せや視察等の関わり **1,723回**
- ・ 制度化等に向けての取組 **52件**

# 事業の継続状況

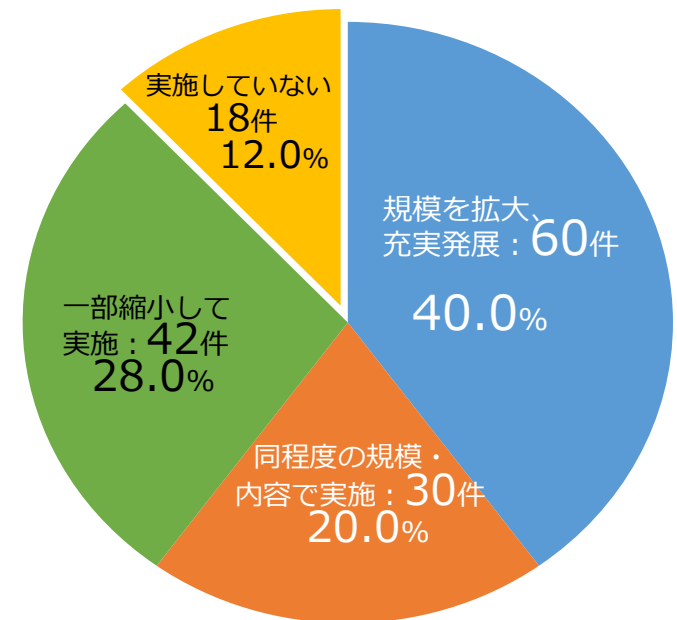
平成30年度の助成先団体のうち、全体の**88.0%**が助成期間終了後も事業を継続していました（助成事業終了後1年6ヶ月経過時点）。

また、約**4割**の団体が「事業規模を拡大または事業内容を充実・発展させて継続している」と回答し、そのうちの**90.0%**は、連携団体数が増加していました。

## 「事業規模の拡大または事業内容の充実・発展」の内容

- ①資金規模の拡大
- ②新たな課題を視野に入れたことによる対象者人数・対象者層の拡大
- ③スタッフ・組織体制の充実・発展等の状況の変化

e,t,c,



調査対象：平成30年度W A M助成事業  
実施団体160団体 総回答数：150団体  
(N=150) 回答率93.8%

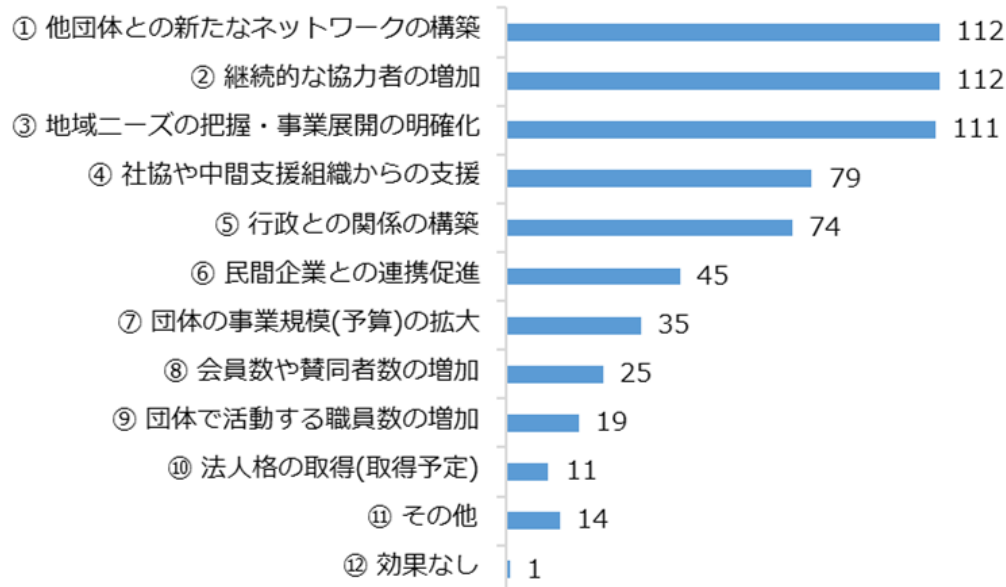
# その後の団体活動や組織に与えた効果

全事業の**7割**以上に「他団体との新たなネットワーク構築」や「継続的な協力者の増加」が確認されました。

助成事業を通じて構築したネットワーク（連携）の広がりや、助成期間中の連携団体数と比較した結果、平均して**1.7**倍に拡大して事業を実施していることが分かりました。

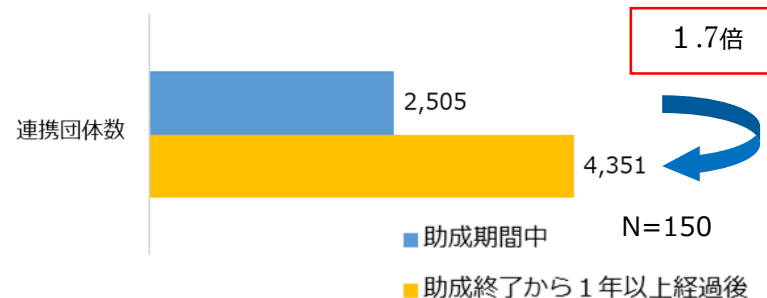
## その後の団体活動や組織に与えた効果（複数回答）

全事業の7割以上に「他団体との新たなネットワークの構築」や「継続的な協力者の増加」を確認しました。



## 連携団体数の変化と連携による効果

連携・ネットワーク団体数が平均で1.7倍に拡大



調査対象：平成30年度W A M助成事業  
実施団体160団体 総回答数：150団体  
(N=150) 回答率93.8%

# 事業実施のポイント

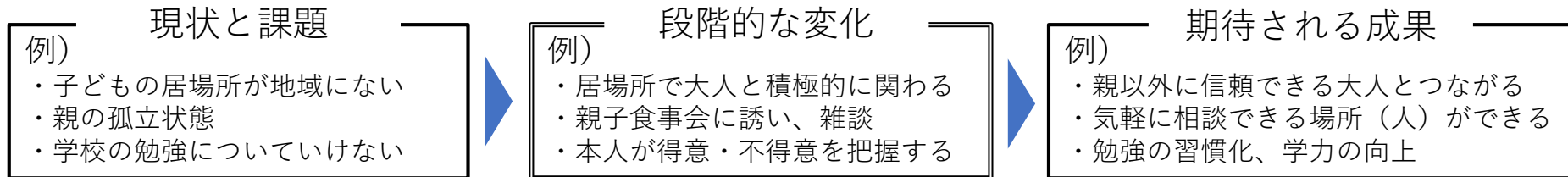
では事業実施中に、  
どんなことに取り組めばよいのでしょうか？

## これより取り上げる「事業実施のポイント」

- |         |                  |
|---------|------------------|
| 〈目標設定〉  | ✓ 目標を具体化する       |
| 〈進捗の把握〉 | ✓ 状況を把握する        |
| 〈成果普及〉  | ✓ 成果把握・普及        |
| 〈評価〉    | ✓ 事業評価の活用・仕組み・分析 |
| 〈連携〉    | ✓ 事業の地域定着に向けた連携  |
| 〈広報〉    | ✓ 情報発信と配慮        |
| 〈継続性〉   | ✓ 事業継続への備え①と②    |

# 〈目標設定〉 目標を具体化する

■ 成果目標「こうなったらいいな」と「現状」の間にある変化を段階的に把握



## 👉 目標設定及び実行上の注意点

目標は、支援対象者のニーズに基づき設定するようにしてください。

実行上の注意点は、事業を実施していくなかで、当初想定していた目標や期待される成果とは異なる方向性が見えてくる場合があります。

その際は、支援の対象者一人ひとりにとっての安心安全を主眼に事業を推進し、その結果を共有いただくようお願いいたします。期中に、そうした状況が生じた場合は団体内で話し合いの上、必要に応じて要望書に記載した「期待される成果」や「数値目標」の見直しについてご相談ください。

# 〈進捗の把握〉 状況を把握する

■ 団体内部や連携先とともに定期的な事業の点検（振り返り）や、成果（変化等）を把握する際には、活動時の記録が役立ちます。事業の内容にあわせて、「活動記録シート」を作成しましょう。記録する項目の検討にあたっては、簡単なフォーマットとし、記録を継続できるよう工夫することがポイントです。

## 「活動記録シート」の例

活動日	活動 参加者名	活動中にどんな行動がみられたか	気になったこと	確認された 指標(※)	その他、スタッフ内で共有・確認したいこと
4/18	Aさん	・自分から調理を手伝う 様子がみられた	・母親の帰りが遅 いと相談あり	②、③	・母親に必要な言葉か けや支援の紹介の仕方
	Bくん				
	Cさん				

### 【※団体内で話し合っただめた指標】

- ① スタッフやボランティア等、親以外の大人を頼れている
- ② 活動に対し意欲的である
- ③ 不安なことを相談することができる





# 〈評価〉 事業評価の活用

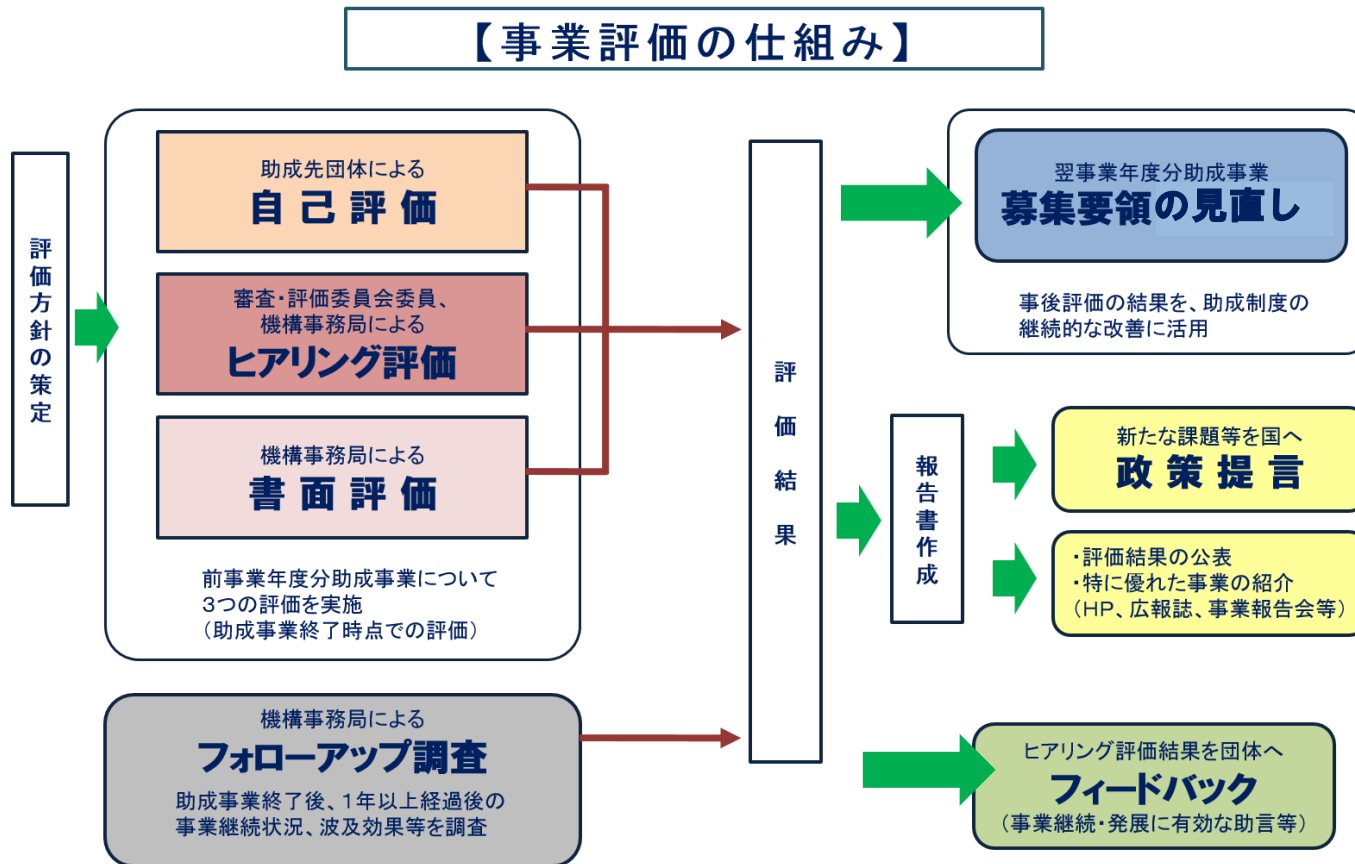
- 団体自身で取り組んでいただく「自己評価」は大切です。助成事業を振り返り、想定していた成果と実際の状況の比較分析等により現状を認識し、今後の活動に役立ててください。

## 【期待される効果】

- 支援の対象となる方々の個別のニーズ把握が深まる
- スタッフのやりがいが高まり、組織内のコミュニケーションが円滑になる
- 地域や社会が事業の意義を理解するようになり、応援者が増える
- 寄付者、財団、企業、行政などと、事業をめぐる共通の土台ができるので、協力関係が深まる

# 〈評価〉 事業評価の仕組み

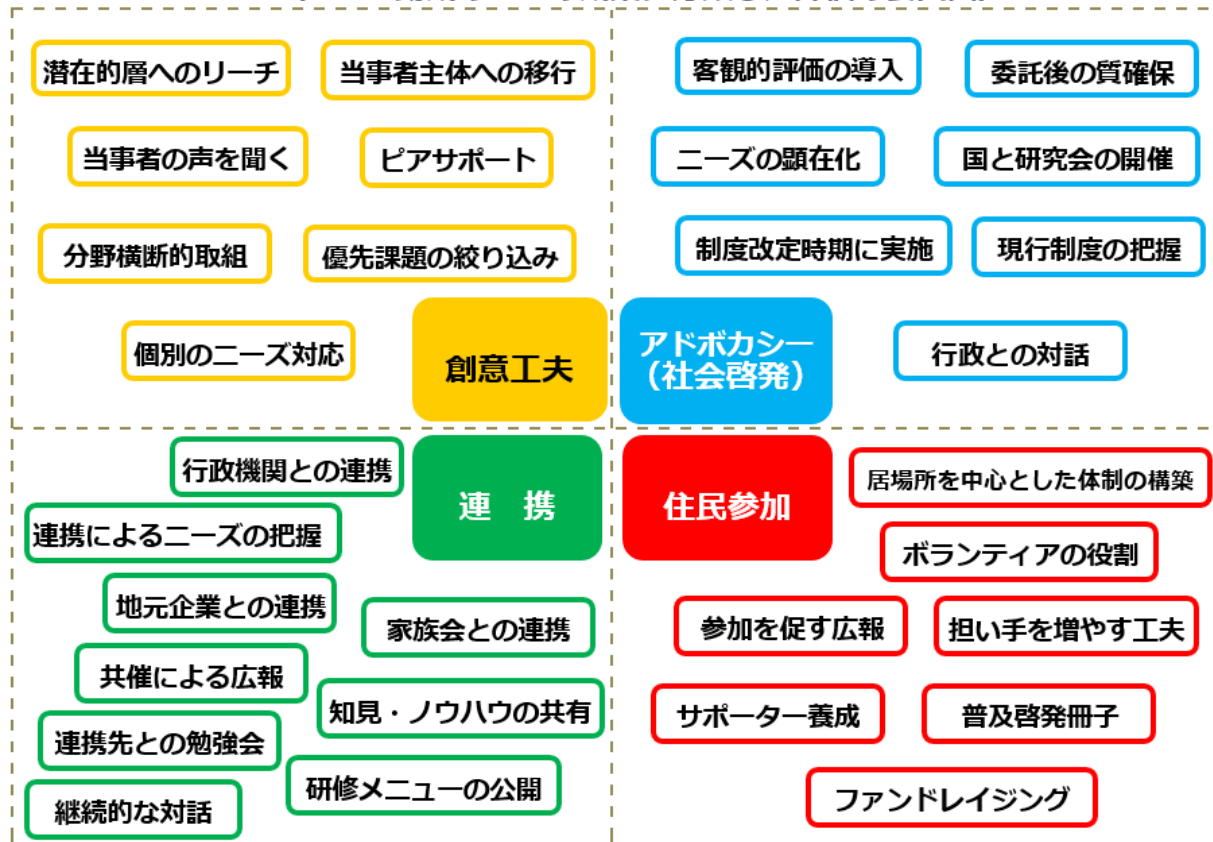
- 評価目的：「事業の改善」「W A M助成制度の改善」「国へ新たな課題を提案」



# 〈評価〉 事業評価の要因分析

- 事業の目指す姿と目的地に向けた具体的な道筋を想定すること、また、想定した計画を必要に応じて修正しながら、取り組んでいくことが事業の成果に繋がっていました。

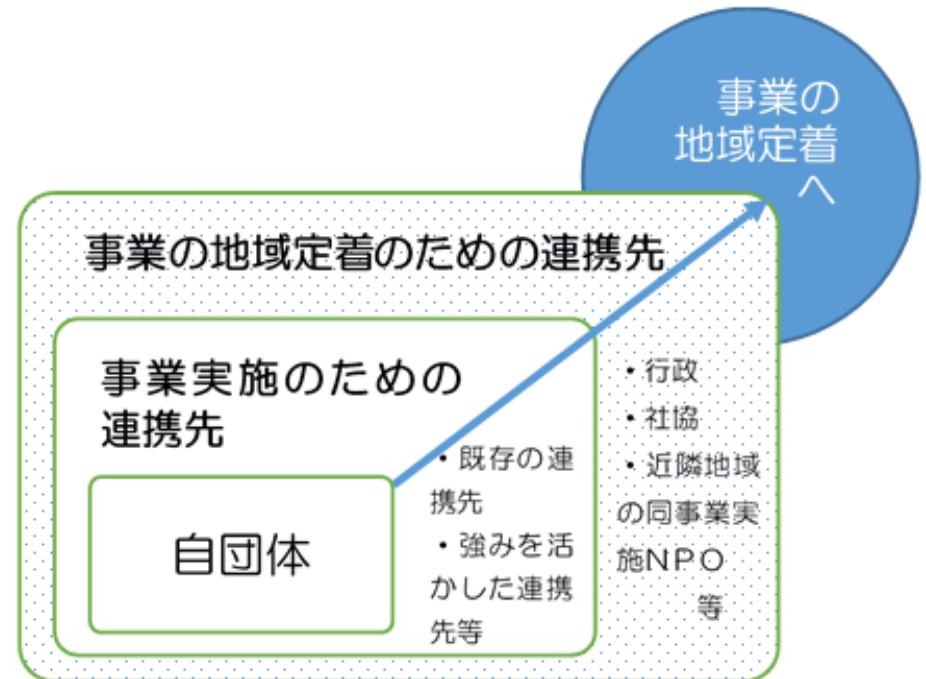
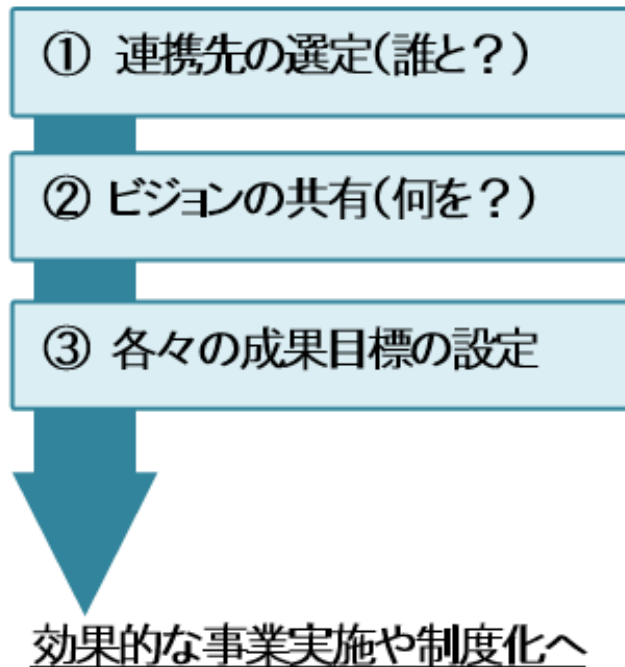
〈WAM 助成の4つの成果に分類した評価の要因図〉



# 〈連携〉

## 事業の地域定着に向けた連携

- 「事業の地域定着のための連携先」との連携について検討されているか
- 連携先と「ビジョン」を共有する機会をつくる
- 自団体・連携先各々が担う役割を明確化するとともに成果目標を設定する



# 〈広報〉 情報発信と配慮

- 「誰に、何を、なぜ、どのようにして」伝えるか対象者の属性で分類し、適切な情報発信の内容や手段を選択
- 本人や保護者の同意を得られる場合を除き、個人が特定できないように

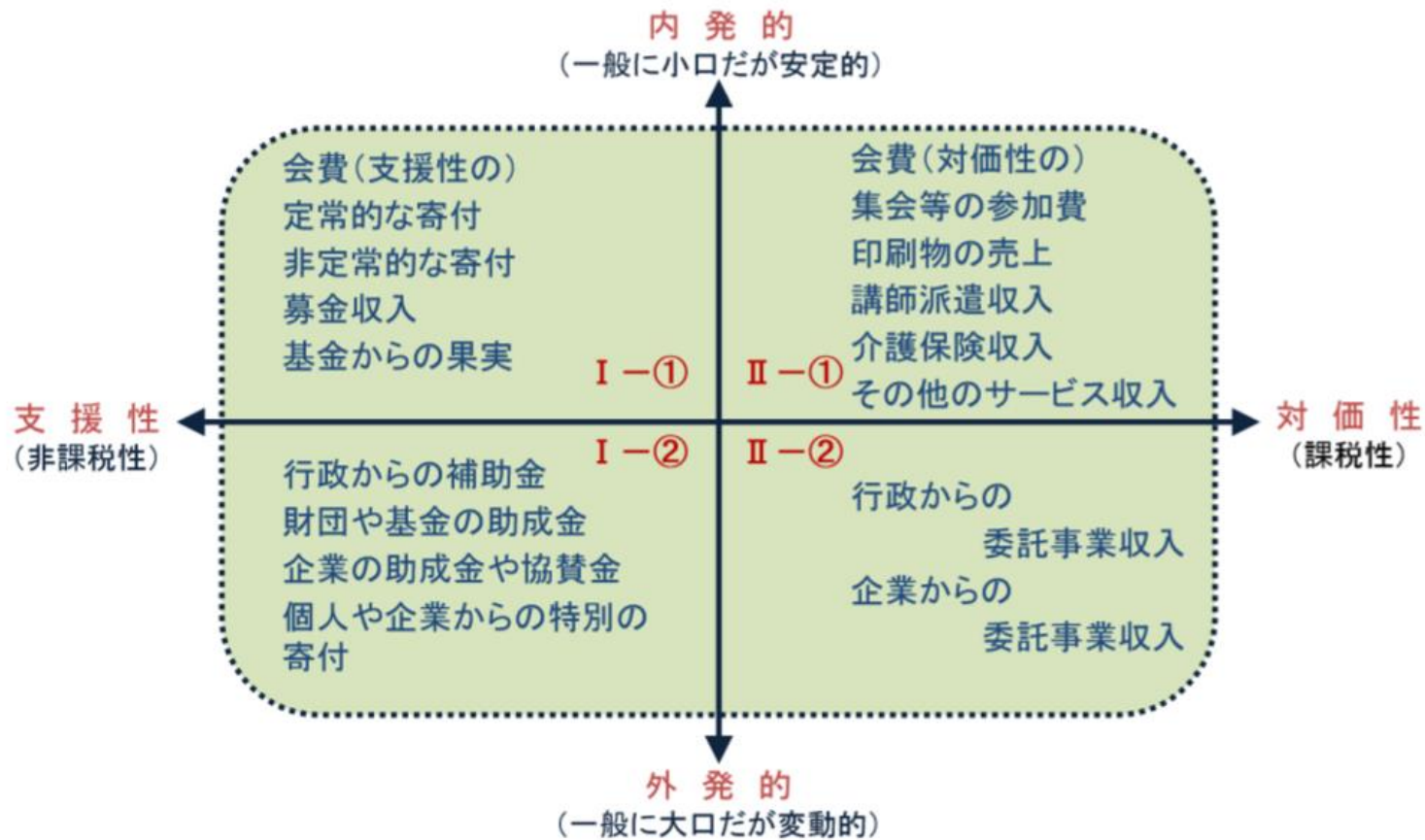
## 広報媒体の例





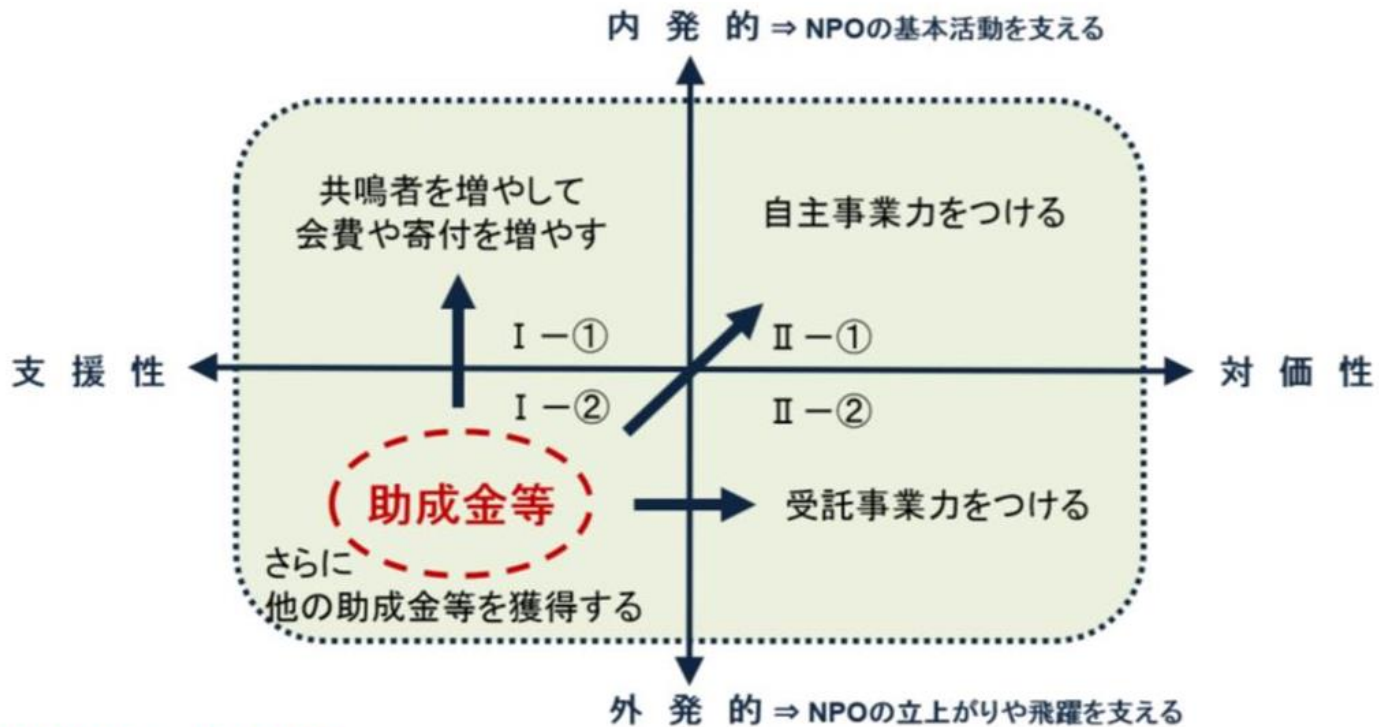
# 〈継続性〉 事業継続への備え①

## NPOを支える財源の構成 —財政面から組織基盤を考える—



# 〈継続性〉 事業継続への備え②

## 助成金を組織基盤の強化にどう活かすか？



・助成金はI-②の財源

⇒その財源で、どう効果的な活動を展開し、組織の基盤を固めるか

⇒その成果を、I-①、II-①、II-②の財源の拡充にどう活かすか



# その他の留意事項

(ご一読ください)

## ■ 連携先への委託の取扱

(手引きP.24 5-(3))

- ・ 業務委託契約の締結が必要
- ・ 委託内容を整理した契約金額内訳書が必要

※委託の割合が総事業費の50%以上の場合は、事業そのものが助成対象外となるのでご注意ください

## ■ 成果物への助成表示

(手引きP.25)

- ・ 「助成先団体名」と「助成表示」を必ず明記
- ・ 成果物等は事業完了報告時に提出

## ■ 成果物発行時の注意点

(手引きP.26)

- ・ 発行者は「助成先団体」とする
- ・ 連携団体の名称のみでの表示はNG
- ・ 作成・発行年月日は助成対象期間内の日付
- ・ 無料頒布が原則のため、価格表示は禁止

## ■ 利用者アンケート

(手引きP.27-29)

- ・ 研修会、講習会等の事業において実施
- ・ アンケートの実施が困難な場合は、実施前後の対象者の変化を文章でまとめる等により、成果を把握

# WAM連絡システムをご活用ください

- 団体担当者とWAM担当者が個別にやりとりができる掲示板です。
- 50MBまでのファイル送受信が可能。活動の様子やチラシ、報告書など、WAM担当者とぜひ共有してください。
- 助成先団体同士で、イベント告知などの情報交換ができます。

WAM NET

お問い合せ  
お問い合わせ

トップ コミュニティ介護 コミュニティ医療 コミュニティ障害者福祉 コミュニティ高齢者福祉 コミュニティ児童福祉

オープンサイト  
ログアウト  
登録変更  
パスワード変更  
会員利用中止

トップ  
メールマガジン  
月刊誌WAM

30年度特非) 様掲示板

全て 受付番号/団体名: 201804 /特非) 団体ID: 登録アドレス:

新規投稿 管理画面へ 法人情報の変更 平成30年度支援先団体専用HP

各団体お知らせコーナー  
このコーナーは、イベント告知や事業運営のヒトなどの情報共有の場です

2018/12/05 お知らせ 【応募受付中】「全日本社会貢献団体機構」社会貢献活動支援助成について - 独立行政法人福祉医療機構

2018/12/05 お知らせ 【応募受付中】ハワジングアンドコミュニティ創団の助成金について - 独立行政法人福祉医療機構

2018/06/05 お知らせ 【無料公開】「NPO法人事務体制整備ノート」より良い法人運営のための〜

2019/11/31 10:57:51 特非) その他。子ども食堂リーフレット作成の件について

印刷用画面を開く  
確定する 編集  
削除

NPOソサエター NPO支援課  
様

いつも大変お世話になっております。  
子ども食堂のリーフレットを作成しております。  
お忙しい中大変申し訳ございませんが、リーフレットにWAMのロゴを入れて頂きました。  
3月の報告会に向けてのリーフレットとして作成しております。  
リーフレットを添付させて頂きました。

また、備品購入の件につきましてのご返信ありがとうございました。  
今後ともよろしくお願いいたします。

お手数おかけいたしますが、ご返信お待ちしております。  
よろしくお願いいたします。

三つ折りリーフレット印刷.pdf

2019/11/31 19:38:22 独立行政法人福祉医療機構  
Re: 子ども食堂リーフレット作成の件について

編集  
削除

日頃よりお世話になっております。です。

リーフレットの件、ご連絡ありがとうございます。  
支援表示も入っておりますので、特段問題ございません。  
イラストも多く入っており、観しやすいいリーフレットになっていると思います。  
どうぞよろしくお願いいたします。

WAM NET

お問い合せ  
お問い合わせ

トップ コミュニティ介護 コミュニティ医療 コミュニティ障害者福祉 コミュニティ高齢者福祉 コミュニティ児童福祉

オープンサイト  
ログアウト  
登録変更  
パスワード変更  
会員利用中止

トップ  
メールマガジン  
月刊誌WAM

30年度各団体お知らせ

投稿一覧

お知らせ 広報協力 募集 活動紹介  
情報共有 質問 相談 その他

2019/02/02 お知らせ 「成年後見制度啓発フォーラム IN 鹿兒島」の開催！ -

2019/01/21 お知らせ 地方から居住支援を考える in 岩見沢 -

2019/01/20 お知らせ 【イベントのご案内】 ひがしなだ居場所まつり -

2019/01/07 募集 2/25 伴走者育成研修報告シンポジウム 子どもの『貧・困』への多様な関わり方を知る

申請書兼請求書に登録するメールアドレスをご記入ください。  
登録手続きが完了しましたら、ユーザーID・パスワードを郵送いたします。

# WAM担当者より ひとこと

## ■ WAMリソースの活用を

WAMが有する「事業評価から得られたノウハウや成果事例の普及」、「民間福祉活動団体とのネットワーク」、「助成実績や成果報告等のデータベース」、「WAMNETによる国の審議会の情報提供」、「社会福祉事業も含めた事業展開への助言」等のリソースや行政との対等な協働関係の構築に寄与するWAM助成の特徴を事業に活かしてください。

## ■ 他団体とのネットワークを

今年もWAM助成により、全国各地でさまざまな課題に対応する民間福祉活動が取り組まれます。採択となられた **129** 団体の皆さま同士がこれを一つの契機として、情報交換など、双方向の連携が進むことを願っています。

## ■ WAM担当者にご相談ください

団体ごとにWAMの担当者がついています。事業や資金の計画変更の相談や手続き等の他、事業の方向性の検討などお気軽にご連絡ください。悩みも言葉にすると整理ができることがあるかもしれません。

# WAMリソースをご活用ください

## ■ 過去の優良事例を掲載



**WAM助成レポート**  
(優良事例先訪問レポート)



**事業評価報告書(令和3年1月)**  
(WAM助成の評価)



**電子図書館 (e-ライブラリー)**  
(過去の事例概要・報告書)



## ■ 事業計画立案時のヒントを掲載



NPOの民間福祉活動  
に役立つヒント集  
(事業運営のヒント)



資金調達セミナー  
(2017) 開催報告  
(助成金について)



## ■ 事業継続・資金調達・連携・評価のヒントを掲載



WAM助成フォーラム  
(2017) 開催報告  
(資金調達・人材育成のコツ)



WAM助成シンポジウム  
(2018) 開催報告  
(多様な連携のカタチ)



WAM助成フォーラム  
(2019) 開催報告  
(協力と対話の方法)



ご不明な点がございましたら、  
どうぞお気軽にご相談ください。



事務の手引き(PDF版)や申請様式などは  
以下のページからダウンロードできます。

<https://www.wam.go.jp/hp/r3dantai/>

## 独立行政法人福祉医療機構 NPOリソースセンター

〒105-8486

東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル9階

NPO支援課 : 03-3438-4756

FAX(共通) : 03-3438-0218

NPO振興課 : 03-3438-9942

月曜～金曜 AM9:00～PM5:00 (祝祭日を除きます)